

⑥ スノーシューハイキング

概要	スノーシューを装着して積雪のフィールドをハイキングします。森の中で動物の足跡をたどるなど、自然観察を兼ねたハイキングを楽しむことができます。『であいの小径コース』『わくわく広場コース』の2つのコースがあります。			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・体力の向上を図ることができます。 ・冬ならではの自然に触れ合うことができます。 			
条件	対象	幼児～	人数	制限はないが、40名につき1人の引率者が必要
	時期	1・2月（積雪状況によっては3月も可能）	実施の判断	風速10m/sを超えるとき 吹雪のため視界が不良のとき 大雪、雷警報が発表されたとき
貸出物品 ・準備物	自然の家（貸出物品）		団体（準備物）	個人（準備物）
	<input type="checkbox"/> スノーシュー <input type="checkbox"/> ストック（必要に応じて） <input type="checkbox"/> トランシーバー（必要に応じて）		<input type="checkbox"/> 救急セット	<input type="checkbox"/> スキーウェア <input type="checkbox"/> グローブ <input type="checkbox"/> ゴーグル <input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> 防水防寒靴
引率者の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ピロティで説明を受けてスノーシューを受け取り、活動場所に移動させる。 ・活動の前後に点呼を行う。 ・活動終了後にスノーシューを戻し、終了したことを事務室へ報告する。 ・学習指導…参加者の実態に即した指導と支援を行う。 			
研修指導員の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼団体より利用の1週間前までに電話を受け、活動内容について打ち合わせを行う。 ・活動当日、実施の可否について団体と相談をする。 ・スノーシューの着脱について指導をする。 ・経路の案内、危険箇所の注意喚起を行う。また、自然観察の説明を行う。 ・活動終了後、事務室にて活動報告書を作成し、提出する。 			
自然の家職員の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・物品の貸出を行う。 ・セーフティートークを行う。 			
活動の流れ (2～3時間)	<p>【準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修指導員を派遣する場合は、「研修指導員派遣依頼書」を提出してください。 ・実地踏査をして、コース、所要時間、危険箇所、疲労度等を確認してください。 ・団体引率者間での役割分担や参加者への事前指導の徹底をします。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スノーシューの装着方法と返却方法を確認します。 ・歩き方と活動中の安全管理上の注意事項を確認します。 ・活動を開始します。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スノーシューの雪を落とします。 ・スノーシューを専用のフックに戻します。 			
安全管理 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・スノーシューは体重別に合ったサイズを選んでください。 ・歩行中にスノーシューの留め金が外れないように調整し、しっかりと固定してください。 ・単独ではなく、必ずグループ単位で行動してください。 ・実施前後に点呼を行い、人数の確認をしてください。 			